

月例研修会「高野山町石道を歩く」

担当 森 英雄 境 寛

天候は、「晴れ」で最高のハイキング日和となり、今回は歩くことが主体の例会で10人集まればと思っていたところ、8時30分には、健脚自慢の15人が集まり、上々のスタートになりました。定刻8時50分橋本行急行に乗車、車両は通勤と逆方向で会員だけの専用車の雰囲気です。「昨夜は飲み過ぎたので・・・」と和やかな雰囲気で車上の人になりました。

南海高野線九度山に10時過ぎに到着、手洗いを済ませ、足慣らしに丹生川沿いに慈尊院を目指して出発、途中真田庵で真田幸村親子の400年回忌を学習しセンダンの大樹を観察、10時50分に慈尊院に到着。



ここで、足元を固め、各自ストレッチをして百八十町の町石を見学、ハイキングのスタートを切りました。

しばらく樹林帯を進むと、可憐なホトトギスに和まされたり、渋柿の熟しをもぎ取ったりと和気あいあいと歩みを進めました。紀の川を見下ろす展望台で早目の昼食を取り、目的地に向かいました。柿畑と杉・檜の樹林帯の中を、「町石の順番が飛んでいる」とか、無人販売の柿を楽しんだりして歩くこと1時間強、六本杉に到着。休憩の後丹生都比売神社へ下り、太鼓橋で記念撮影、トイレと大休止をして、いよいよ後半の八丁坂の登りを二つ鳥居に向かいました。無事二つ鳥居に登りきり、



町石道

しばし丹生の村の展望を楽しんで、上古沢駅に向かって下山、急な峠を下り里近くでは、イノシシの捕獲檻を眺めながら4時過ぎに上古沢駅に到着、一息入れて車上の人になりました。途中一部体調不良を訴えるメンバーもいましたが、全員無事歩き通す事が出来ました。お疲れ様でした。

(境 寛)



二つ鳥居

